



宇都宮大学における 男女共同参画の取組み



国立大学法人宇都宮大学
ダイバーシティ研究環境推進本部

はじめに ～これまでの歩み～

本学は、平成24年に男女共同参画推進室を設置して以来、学内の男女共同参画意識の醸成と共に、女性研究者の仕事とライフイベントの両立支援に取り組んできました。

そして、平成25年には文部科学省の「女性研究者研究環境活動支援事業」に採択され、3年間の事業に取り組んだ結果、女性教員比率の上昇につながりました。

こうした取り組みが評価され、このたび「文部科学省平成30年度科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択されました。

新事業の採択に伴い、組織を再編して

「ダイバーシティ研究環境推進本部」を立ち上げました！

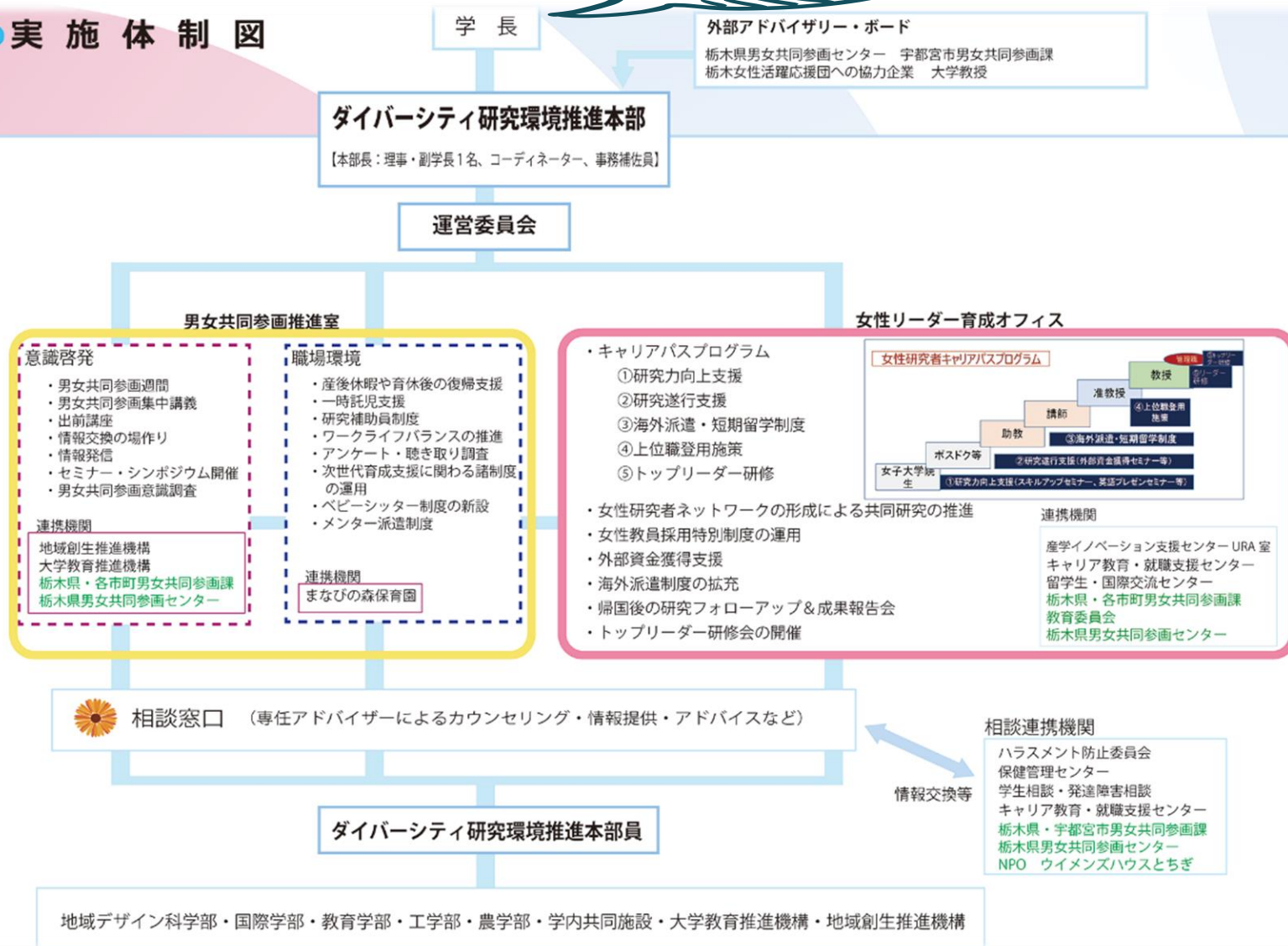
💡 今回は本組織や取り組み内容についてご紹介させていただきます 💡



実施体制

学長直轄の全学組織です

●実施体制図



男女共同参画推進室に加え、新たに女性リーダー育成オフィスを設置し、海外派遣を中心とした研究力向上策ならびに女性リーダーシップ開発策を講じることによって、優秀な女性研究者および女性リーダーの育成を推進します。



男女共同参画推進室



取組み内容（支援）

支援体制の整備

- ◆女性研究者キャリア支援室の開設
コーディネーター 2名・アドバイザー 1名配置
- ◆相談窓口の開設
ワークライフバランス相談窓口
- ◆ホームページやニュースレターによる広報活動

意識啓発

- ◆意識調査の実施（4回）
- ◆ワーク・ライフ・バランス啓発冊子の発行
- ◆男女共同参画週間の制定・実施（2015年度から毎年）
- ◆各種セミナーの実施
- ◆シンポジウム、セミナー、WSの実施
- ◆男性の意識改革（OLE'S CAFÉ）

両立支援

- ◆研究補助員制度
- ◆学内行事時の託児支援
（敷地内保育園利用）



男女共同参画週間

2019年9月24日(火)～9月27日(金)

「男女共同参画週間」を実施します。期間中一日は「男女共同参画週間」として、学内行事の多くが中止となります。期間中一日は「男女共同参画週間」として、学内行事の多くが中止となります。

【9月24日(火)～27日(金) 期間中一日】

【9月24日(火)】 全教職員・学生対象
「ノー残業デー」実施期間、
「男女共同参画週間」期間中、
「ワークライフバランス」一般相談
【9月24日(火)】 全教職員・学生対象
12:10～14:30 梅ヶ丘キャンパス ラーニング・コミュニティ
【9月25日(水)】 全教職員・学生対象
13:30～15:00 梅ヶ丘キャンパス アカデミアホール
【9月26日(木)】 全教職員・学生対象
13:30～15:00 梅ヶ丘キャンパス アカデミアホール
【9月27日(金)】 全教職員・学生対象
13:30～15:00 梅ヶ丘キャンパス アカデミアホール

【9月24日(火)】 全教職員・学生対象
13:30～15:00 梅ヶ丘キャンパス 6011 教室
【9月25日(水)】 全教職員・学生対象
13:30～15:00 梅ヶ丘キャンパス 6011 教室
【9月26日(木)】 全教職員・学生対象
13:30～15:00 梅ヶ丘キャンパス 6011 教室
【9月27日(金)】 全教職員・学生対象
13:30～15:00 梅ヶ丘キャンパス 6011 教室



取組み内容（支援）

男女共同参画授業の開講（基盤教育）

◆2019年度～

「ダイバーシティの中の男女共同参画」

◆受講者

2019年度 17名 / 2020年度 28名



ネットワークシステムの構築

◆メンター制度

女性研究者や女子大学院生が抱える諸問題について先輩研究者が自身の経験、知識やネットワーク等を活かして助言を行う制度。

◆交流セミナー

Fe-Le CAFÉ
GAKUCHO TALK



女性研究者の育成

◆スキルアップセミナー

国際的に活躍できる女性研究者を目指して英語論文の執筆力の向上と研究成果を発信する能力やマネジメント能力を育成するために開催。

◆リケジョカフェの実施（オープンキャンパス時）

◆ロールモデル集の発行





女性リーダー育成オフィス

取組み概要（令和5年度までの目標）



女性教員採用の加速化

- ◇宇都宮大学教員人事方針「女性の若手教員を優先する」
- ◇公募要領への記載「業績が同等の場合は女性を優先して採用」
- ◇女性限定公募「学長戦略経費による女性教員採用特別制度」

目標1 → 女性教員比率 21%

目標2 → 女性教員採用比率 30%（H30～R5年度の平均）



研究力向上のための重層的支援

- ◇女性キャリアパスプログラムを更新して研究力の底上げに資する諸活動ならびにリーダーシップ向上力策を展開
- ◇その成果を女性教員の上位職への昇進というアウトカムに結実

目標3 → 女性教員上位職階比率の向上（教授等18%, 准教授等21%）

目標4 → 女性教員海外派遣制度の拡充



リーダー育成対策の拡充

- ◇管理職に必要な情報・スキルについて学ぶための女性教員対象リーダーシップ・プログラムの開発と実施

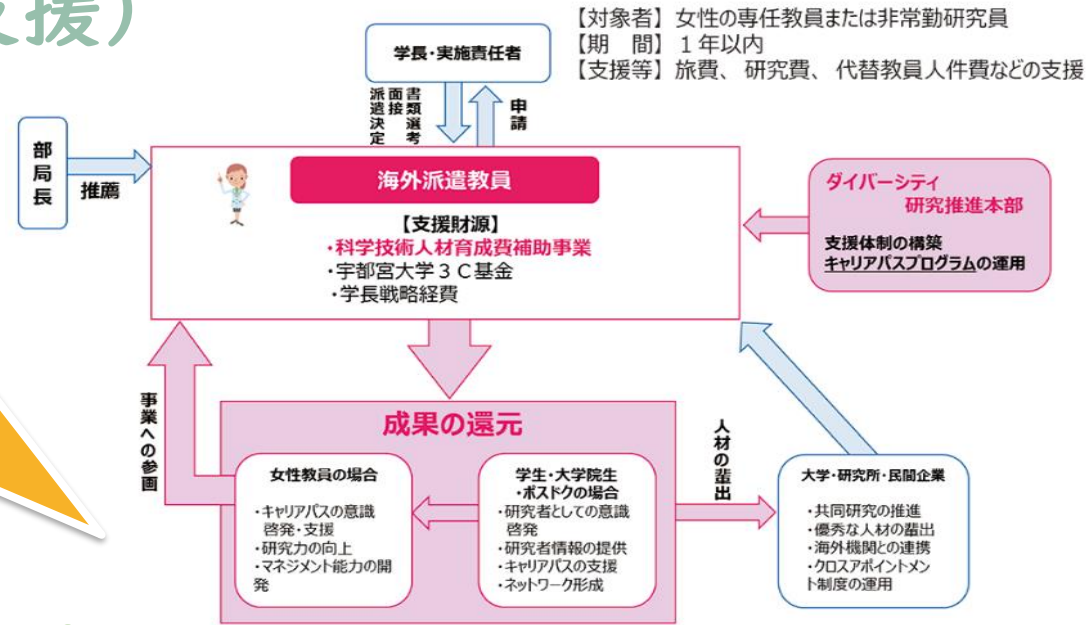
目標5 → 大学運営に関わる女性比率の向上（現状15%の維持向上）



取り組み内容（支援）

現在のサバティカル研修制度、海外研究活動助成制度の支援内容を充実し、女性研究者のニーズにきめ細かく応じる「女性教員海外派遣制度」を創設しました！

主に若手～中堅の女性研究者を積極的に海外に派遣（短期留学を含む）し、その成果を学内に還元して女性研究者キャリア形成モデルを構築します。



環境整備

介護休業 介護部分休業 介護休暇 介護時間休業 メンター制度
早出・遅出勤務 超過勤務免除又は制限 研究補助員配置制度

介護

育児休業 育児時間休業 育児短時間勤務
保育休暇 子の看護休暇 保健指導休暇
休日託児支援制度 早出・遅出勤務 勤務時間の軽減
研究補助員配置制度 メンター制度

育児

勤務時間の軽減 母体保護休暇
産前休暇 産後休暇
通勤緩和と産前休暇 メンター制度
研究補助員配置制度

妊娠・出産・産後

結婚休暇
結婚

管理職

教授

准教授

助教・講師

ポストドク等

大学院生

仕事と家庭生活を両立するための
さまざまな支援があるよ！

⑥ トップリーダー研修

⑤ リーダー研修（マネジメントセミナー等）

④ 上位職登用施策（研究力強化支援）

③ 海外派遣・短期留学制度

② 研究遂行支援（外部資金獲得セミナー等）

① 研究力向上支援（スキルアップセミナー、英語プレゼンセミナー等）

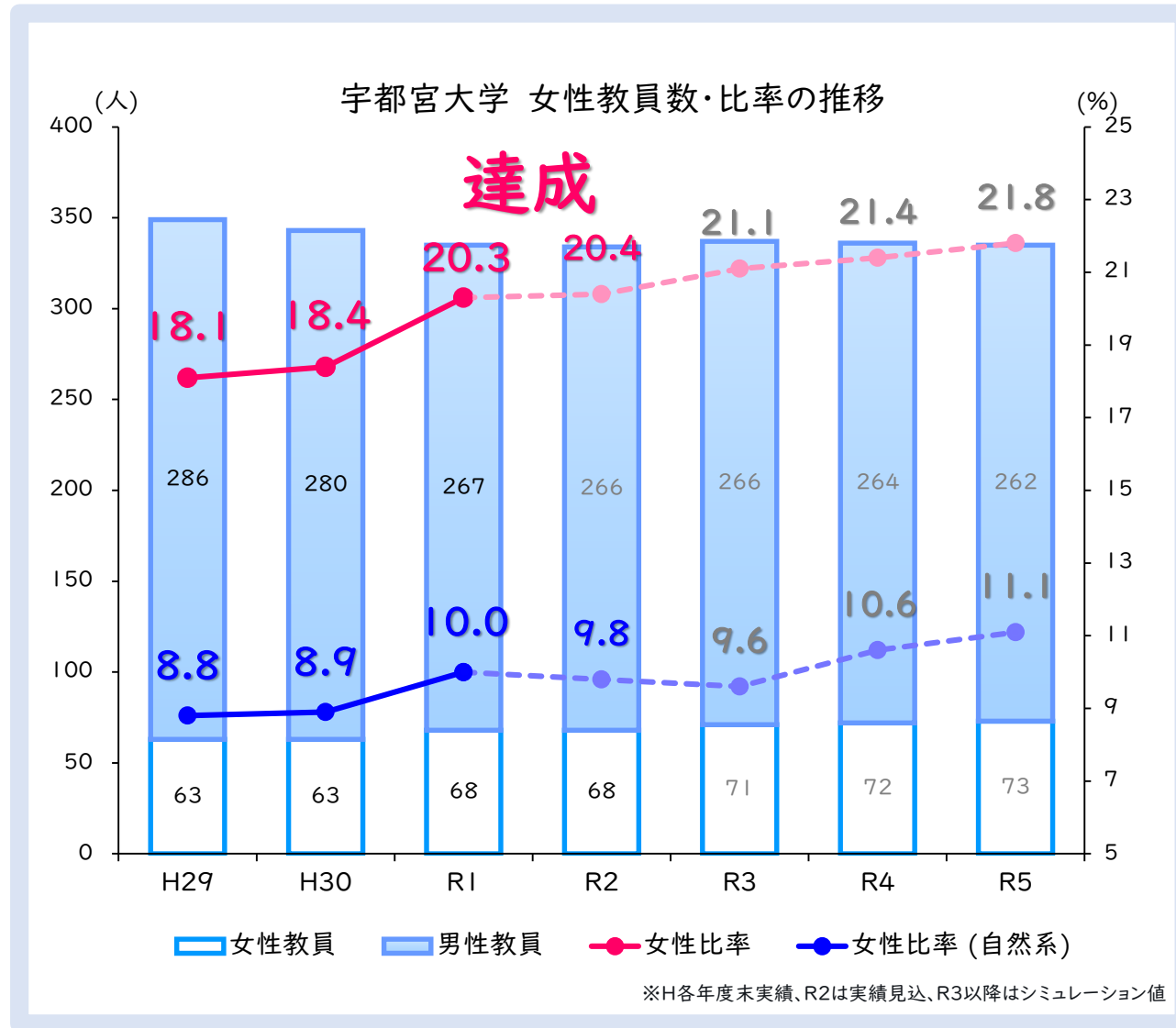
「女性研究者キャリアパスプログラム」を策定しました（本学独自）！

大学院生から管理職に至るまで、各々のライフステージで最適な施策を体系的に実施します。

そして、女性研究者の研究力向上を図り、その成果をもとに上位職登用の促進を支援します。

取組みに対する成果（現状）

<目標I> 女性教員比率 21%



自然系とは
農学部や工学部等の
自然科学系教員です

取り組みに対する成果（現状）

<目標2> 女性教員採用比率 30%（うち自然科学系を半数）

	H29	H30	R1	R2 (R3年1月1日見込み)
$\frac{\text{女性採用者数(自然科学系)}}{\text{全体採用者数}}$	$\frac{2(1)}{12}$	$\frac{5(1)}{11}$	$\frac{8(2)}{13}$	$\frac{4(2)}{16}$
女性採用比率(%)	16.7	45.5 達成	61.5	25.0
備考		女性教員5名のうち1名(自然科学系)は、 <u>女性教員採用特別制度</u> による。	女性教員8名のうち6名(自然科学系2名を含む)は、 <u>部局独自の女性限定公募</u> による。	

自然科学系
未達成

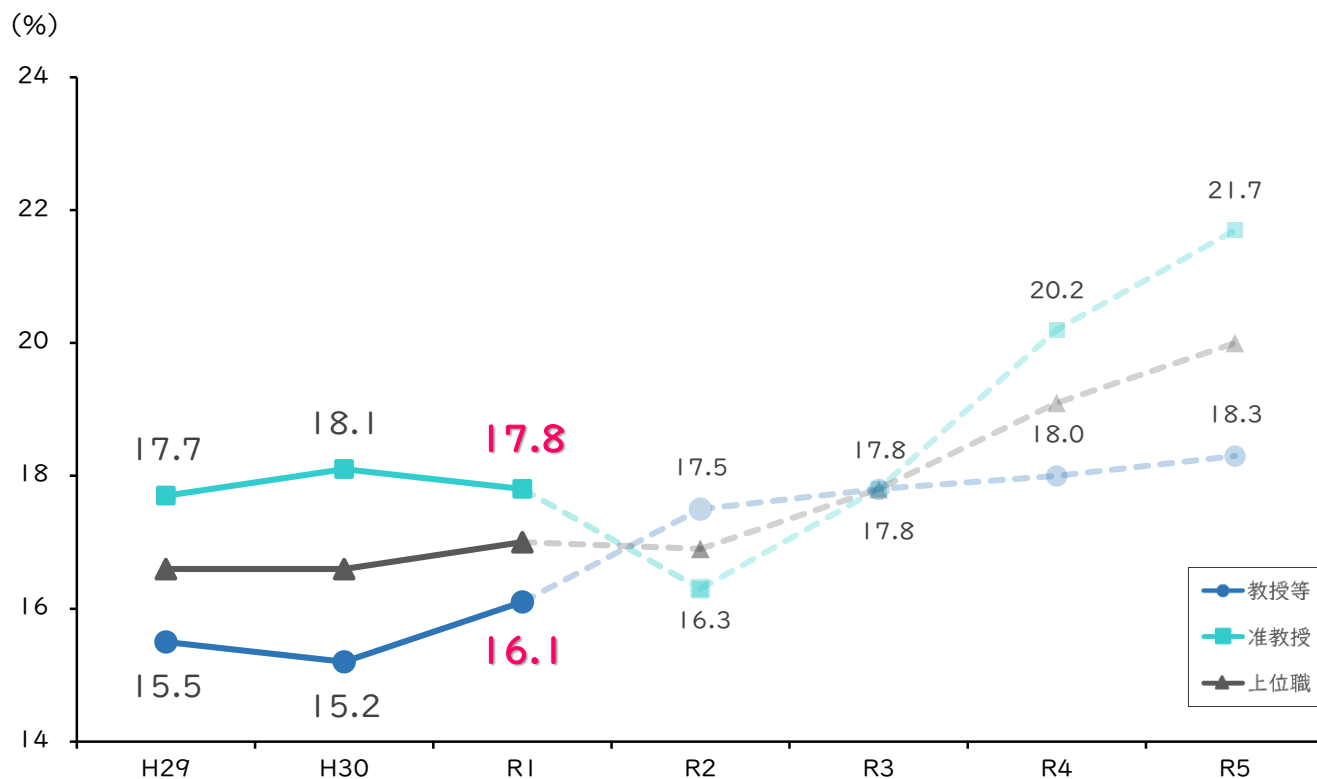
▼
要対策

令和2年度中に「**女性教員採用特別制度**」を活用し
工学部で助教の採用を進めることを決定しました！

取組みに対する成果（現状）

<目標3> 女性教員上位職階比率の向上（教授等18%, 准教授等21%）

女性教員（役職別）推移表



※各年度末実績、R2は実績見込、R3以降はシミュレーション値

上位職とは
准教授以上の
職階のことです

✿ 取り組みに対する成果（現状）

<目標4> 女性教員海外派遣制度の拡充

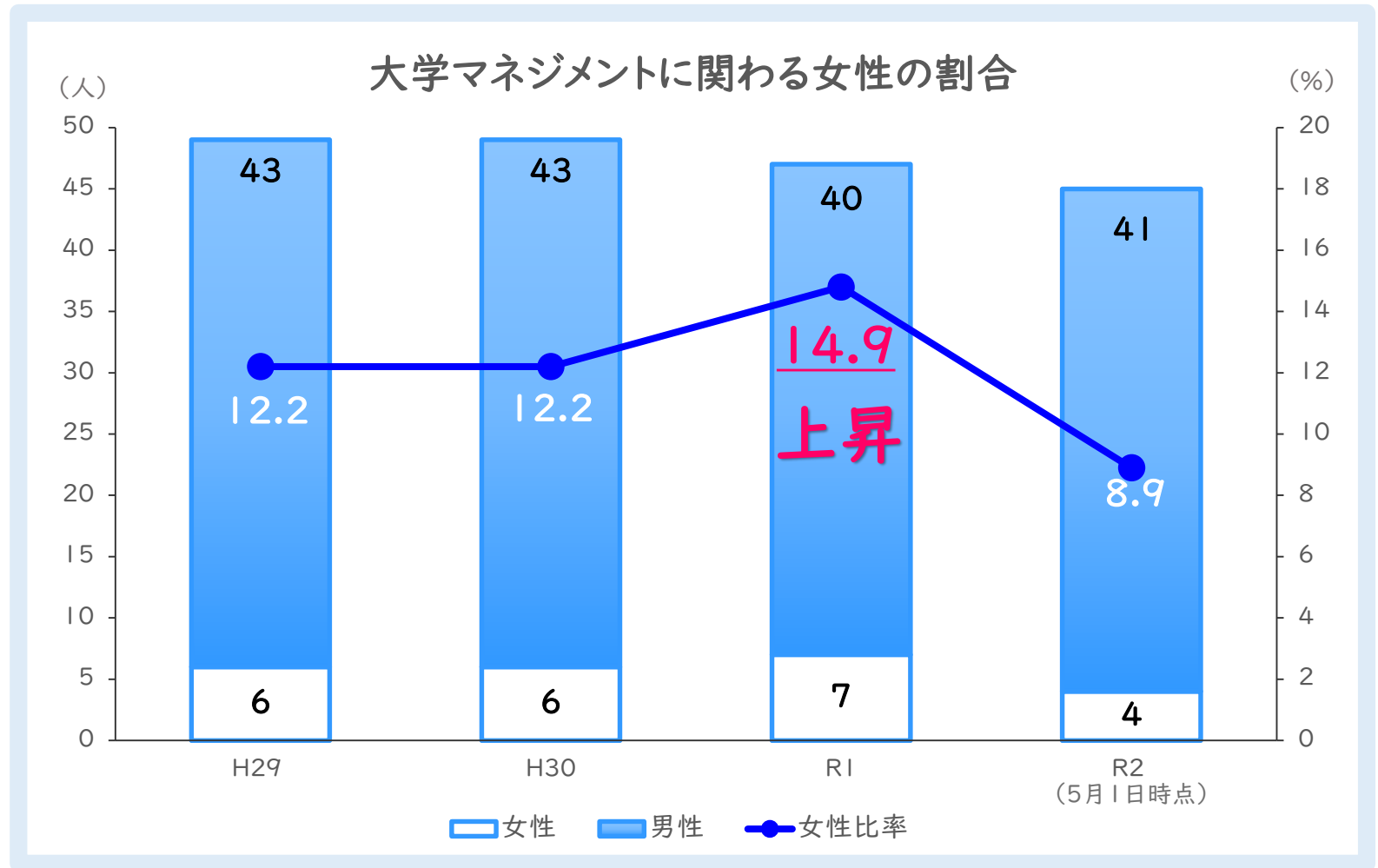
達成



- ✦ ■ 平成30年11月
- ✦ 「女性研究者海外派遣制度」制定
- ✦ ■ 海外派遣者
- ✦ 平成30年度 1名
- ✦ 令和元年度 10名
- ✦ ■ 海外派遣者のうち4名が昇任

取組みに対する成果（現状）

<目標5> 大学運営に関わる女性比率の向上（現状15%の維持向上）



今後の取組み(進め方)について

キャリアパスプログラムの運用と改善

ニーズにあった教育・環境の実現

研究力向上と上位職への意識醸成

ポジティブアクションの実施継続

女性研究者の裾野拡大



ご覧いただき 誠にありがとうございました



＜地域の知の拠点＞を目指す本学は
あらゆる場でのダイバーシティ環境を整備し
一人ひとりがどのライフステージにおいても
その個性と能力が存分に発揮できるような
大学へ発展させて参ります。

今後とも皆様の一層のご支援とご協力を
賜りますようよろしくお願い申し上げます。

